

2. 地域活性化の取り組みに伴う、第4次総合計画の現状について。

質問 ※地域活性化の取り組みに伴う、第4次総合計画の現状について

平成23年に策定し4年たった今、さまざまな角度での政策が進められて居ります。

天美A、B、C、Dの現状と、土地利用構想に伴うこれらの4年間の取り組みについてお聞かせ下さい。



回答 天美B地区に関しては、平成30年にアリオオープンに向けて、順調に進んでおります。

A、C、Dに関しては、地元地権者によるまちづくり協議会等により、良好なまちづくりが行われるための土地利用に関するルール作りが行われ、これより開発の手法によるまちづくりが進められます。

第4次総合計画における土地利用構想を基本といたしまして、天美地区及び新堂地区、そして新たなまちづくりといたしまして幹線道路沿道の未利用地を中心に計画的な土地活用が図られるよう、進めてまいります。

平成27年度 予算特別委員会より 10項目に対し、質問をさせていただきました。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| ①国際交流事業について | ⑥可燃ごみ処理事業及び処理業務事業について |
| ②防犯カメラ補助事業について | ⑦不燃物・粗大ごみ処理事業について |
| ③交通安全推進事業について | ⑧中小企業者経営改善事業について |
| ④(新)生活困窮者自立支援事業について | ⑨(新)消防団充実強化事業について |
| ⑤広域ごみ処理事業について | ⑩(新)スポーツパークまつばら管理事業について |

皆様の安全・安心の街づくりをめざし、今後もしっかりチェックし、松原市発展を推し進めてまいります。

平成27年、松原市第1回定例会及び、予算特別委員会が開催されました。

公明党は、『地方創生の取り組み』として地域の特色を生かせる支援をテーマに考えて参りました。08年に始まった人口減少は、松原市だけの問題ではなく、やがて都市機能にも重大な影響を及ぼすと指摘されています。

今こそ本市においても真正面から立ち向かわなければ、危機的な状況になる事は明らかです。そこで政府は、人口減少に歯止めをかけ、地方の活性化を推進する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と5ヵ年計画の「総合戦略」を策定されました。そこで示された施策を進めていく上で大切なのは、地域が責任を持って、自ら知恵を絞

り、実情に応じた戦略を立て実行することが、地域住民の知恵と発想を柔軟に展開できる仕組みづくりが必要であると、公明党は一貫して訴え取り組んできました。現場で生きる人々がその力を存分に発揮できる。

「人が生きる、地方創生」が松原市の状況を大きく変化させ、景気の上昇気流に乗り遅れないよう、松原市としても、安全・安心のまちづくりを基本とし、更なるセーフコミュニティの前進を目標に、協働のまちづくりを進めてまいります。

今後も公明党にかかわらぬご支持・ご支援を宜しくお願い致します。

かわら 徹

皆様の声が届き実現しました。



平成27年1月
大堀1-14-30付近、新大堀橋の防犯灯のカバーの清掃及び、電球の交換をさせていただきました。



平成27年1月
大堀2-21-32付近、新大堀橋の防犯灯のカバーの清掃及び、電球の交換をさせていただきました。



平成27年1月
天美南2-192ベルドミール天美前の陥没を修理させていただきました。



平成27年1月
別所3-5-10付近、安全確保の為、交差点マークを標示しました。



平成27年1月
府道大堀堺線、阿部産婦人科前の歩道の整備及び、防御柵の整備をさせていただきました。



平成27年1月
府道大堀堺線、天美東6-11-2～7富田被服前付近の歩道の整備及び、防御柵の整備をさせていただきました。